



令和6年度 第1回 福岡PPPプラットフォームセミナー

福岡市PPPロングリスト・ショートリスト 事業紹介

2024.7.29

福岡市財政局アセットマネジメント推進部大規模施設調整課



目次

1. 福岡PPPプラットフォームについて

2. PPPロングリスト・ショートリストについて



1. 福岡PPPプラットフォームについて



1 福岡PPPプラットフォーム

目的

地場企業のPPPに関するノウハウ習得と

事業参画に向けた競争力強化を図る

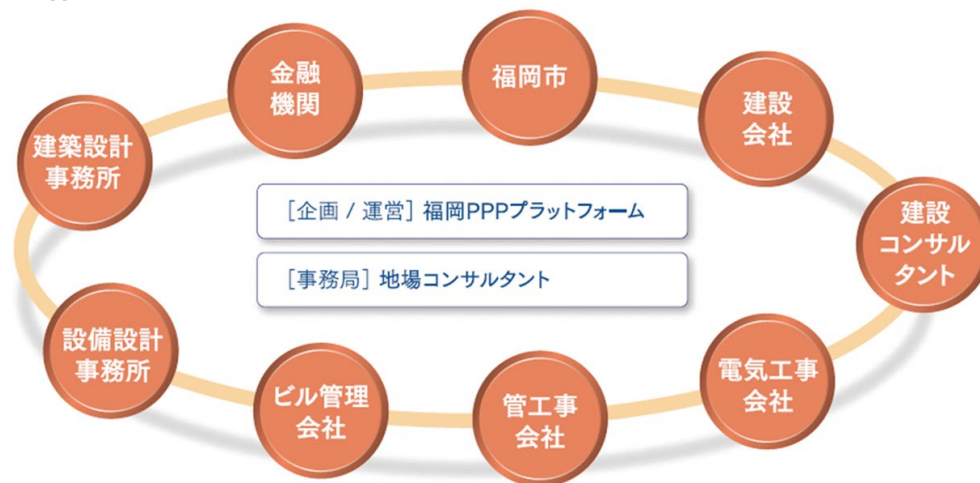
取組

- ・他都市の事例研究などを通じた企画提案力や事業遂行力の向上
- ・異業種間のネットワークの形成
- ・個別事業に関する情報提供と意見交換

などをテーマとしたセミナー等を開催

対象

福岡市内に本店を置く企業





1 福岡PPPプラットフォーム

実績

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
平成23年度	79団体/115名	77団体/103名	66団体/96名	72団体/102名	69団体/91名
平成24年度	69団体/99名	74団体/106名	71団体/106名	66団体/93名	—
平成25年度	62団体/96名	47団体/71名	53団体/70名	—	—
平成26年度	43団体/65名	46団体/65名	42団体/54名	53団体/74名	—
平成27年度	51団体/70名	52団体/74名	43団体/57名	—	—
平成28年度	62団体/80名	47団体/62名	46団体/62名	49団体/65名	—
平成29年度	56団体/72名	39団体/51名	14団体/20名	46団体/62名	—
平成30年度	45団体/52名	50団体/73名	37団体/52名	—	—
令和元年度	40団体/58名	25団体/42名	27団体/41名	—	—
令和2年度	24団体/51名	28団体/51名	24団体/33名	これまで45回開催 のべ1,996団体/ 2,853名 参加	
令和3年度	28団体/38名	28団体/41名	26団体/35名		
令和4年度	27団体/53名	25団体/43名	13団体/22名		
令和5年度	20団体/38名	22団体/31名	13団体/18名		

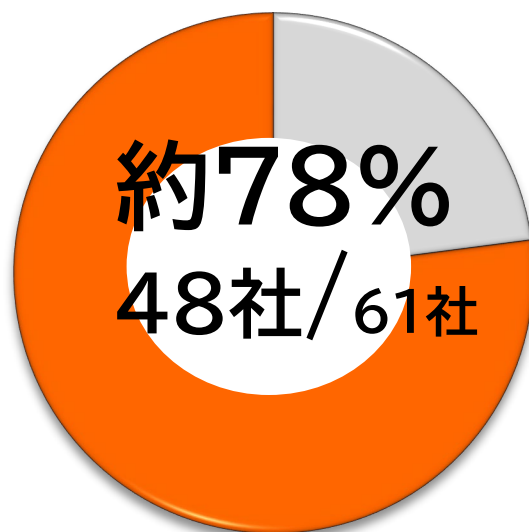


1 福岡PPPプラットフォーム

地場企業の事業参画状況

福岡PPPプラットフォーム参加者の福岡市PPP/PFI事業への参画実績

PPP/PFI事業へ参画した地場企業のうち、福岡PPPプラットフォームへ参加している企業



プラットフォーム参加者へのインタビュー結果（令和3年度実施）

- ・市の最新の事業内容をリアルタイムで聞けることは非常によい
- ・コロナ前ほどの他業種交流ができないのは残念
- ・新たな企業が参加するための場とすることが重要

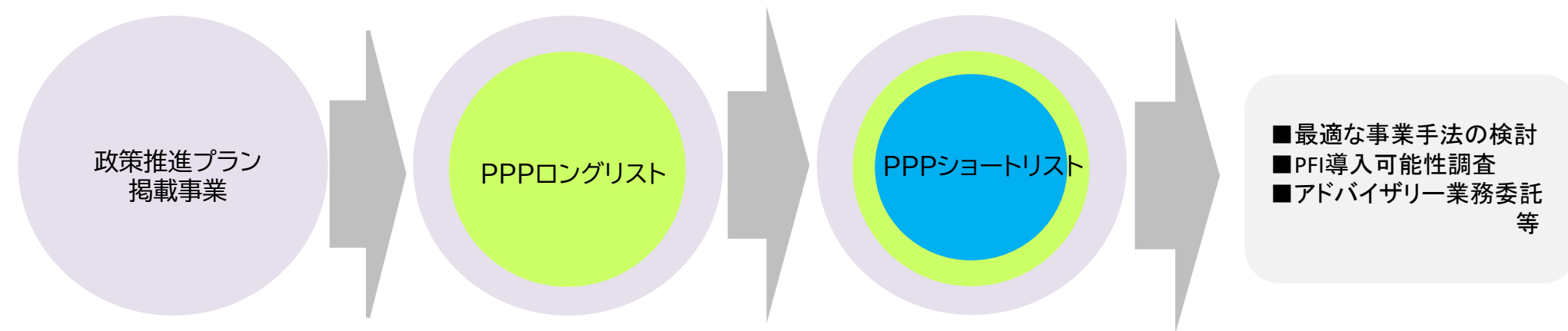


2. PPPロングリスト・ショートリストについて



2 PPPロングリスト、ショートリストについて

最適な事業手法を検討すべき事業の抽出や民間事業者への事業情報の提供を目的として、「PPPロングリスト」「PPPショートリスト」を作成し、毎年度当初に公表しています。



PPPロングリスト

将来的にPPPを含めた事業手法検討の可能性のある施設整備事業のリスト

PPPショートリスト

事業の具体的な検討が始まり、事業手法に関する調査等の予算が措置された事業のリスト

2 PPPロングリスト, ショートリストについて

福岡市役所HP > 市政全般 > 主なプロジェクト > PPP/PFI:官民協働による公共施設の整備



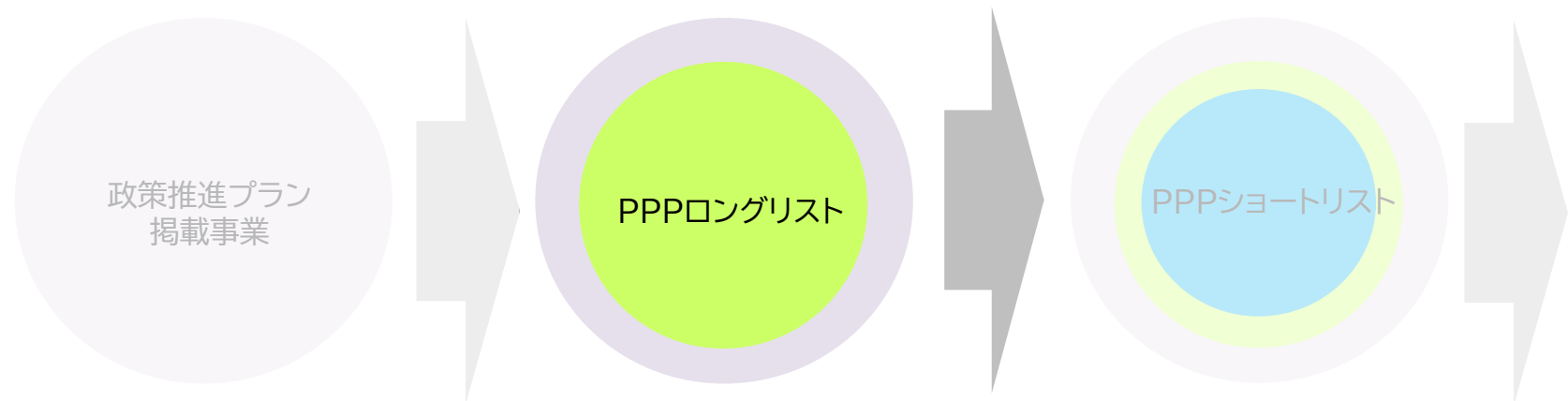
上記QRコード
からもアクセス

福岡市HP:URL

https://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/jigyo-suishin/ppp_pfi/keynote_for_PPP_H2604.html



PPPロングリスト

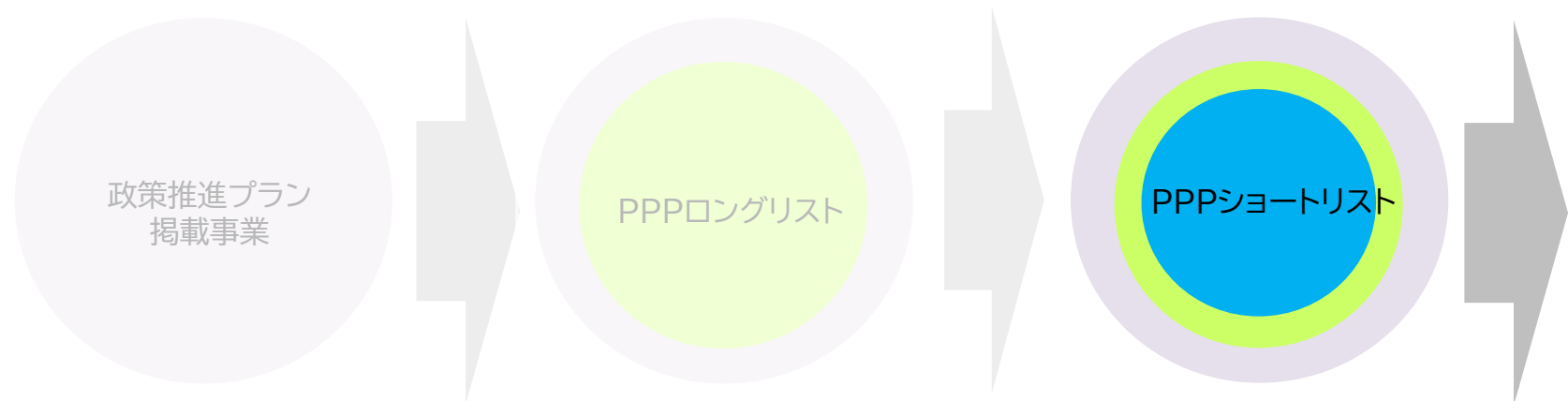


PPPロングリスト対象事業一覧

	事業名称等	所管局	事業概要
1	市営住宅の建替	住宅都市局	老朽化した市営住宅を計画的に建替えることにより、将来にわたって、安定的な供給を行う。
2	学校の校舎等の改善・建替	教育委員会	老朽化が進む学校施設において計画的に改修・建替を行う。 (校舎、講堂兼体育館、プール等)
3	下水道事業	道路下水道局	改築更新・浸水対策・地震対策 など
4	水道事業	水道局	水源、浄水場整備事業・浄水場再編事業 など
5	公園等の有効活用	住宅都市局	広域から多くの利用者が集う公園等において、新規公園の整備や既存公園の再整備等に合わせ、Park-PFI制度等の民間活力を導入し、公園の魅力向上と公園利用者の利便性向上を図る。
6	セントラルパーク構想の推進	住宅都市局	都心に近い貴重な緑地空間として広く市民に親しまれている大濠公園と舞鶴公園の一体的な活用を図り、市民の憩いの場として、また、歴史、芸術文化、観光の発信拠点となるような公園づくりを目指す。
7	アイランドシティ はばたき公園	港湾空港局	人と自然が共生する公園の整備をエコパークゾーンと一体的に行う。公園の管理・運営、及びガイダンスセンターの整備や利便施設の導入にあたっては、民間活力の導入を検討。
8	アイランドシティ グリーンベルト の民間活用	港湾空港局	アイランドシティ中央公園とはばたき公園をつなぐグリーンベルト(緑地帯)のうち、はばたき公園側の区画の中に民間活用できる「活用エリア」を設け、都市公園と相乗効果が期待できる機能を誘導することで、グリーンベルトの魅力向上を図る。



PPPショートリスト





PPPショートリスト対象事業一覧

	事業名	担当部署	令和5年度までの進捗状況／ 令和6年度の取組(予定)	個別 事業 紹介
1	ボートレース福岡パーク化事業 ※新規	経済観光文化局 経営企画課	令和5年度は、事業手法の検討を行い、基本計画、実施方針、要求水準書(案)を策定し公表した。 令和6年度は、公募を行い、事業者の選定および契約締結を行う予定である。	○
2	今宿野外活動センターリニューアル	市民局 スポーツ施設課	令和5年度は、公募型サウンディング調査を実施するなど、施設計画や事業手法等の検討を行った。 令和6年度は、公募に向けた検討・準備を行う予定である。	—
3	福岡市博物館リニューアル推進事業	経済観光文化局 博物館運営課	令和5年度は、基本計画の公表およびリニューアル基本設計(基礎的設計)を実施した。 令和6年度は、実施方針の策定や公募に向けた検討・準備などを行う予定である。	○
4	西部工場再整備	環境局 西部工場再整備課	令和5年度は、事業手法の検討に必要な官民の役割分担や財政負担等に関する他都市事例等の調査を行った。 令和6年度は、引き続き事業手法や工場仕様などの公募条件の検討等、公募に向けた準備を行う予定である。	○



PPPショートリスト対象事業一覧

	事業名	担当部署	令和5年度までの進捗状況／ 令和6年度の取組(予定)	個別 事業 紹介
5	福岡市葬祭場「刻の森」整備事業 ※新規	保健医療局 生活衛生課	令和5年度は、事業内容の検討を行った。 令和6年度は、事業費の精査および公募 書類の作成を行う。	○
6	九州大学箱崎キャンパス跡地 水素ステーション整備 ※新規	経済観光文化局 水素推進担当	令和6年度は、水素ステーションの基本構 想等の検討を行う。	○
7	ウォーターフロント地区再整備	住宅都市局 ウォーターフロントまち づくり推進課 経済観光文化局 MICE施設整備担当 港湾空港局 再整備計画課	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、 検討エリアを見直しており、令和6年度はふ頭 基部の事業化に向け検討を行う。	—

ボートレース福岡パーク化事業





1 ボートレースパーク化について

- ボートレース業界の中央団体の一つであるボートレース振興会において
ボートレース場の活性化を目指した取り組みとして、『パーク化』を進めている。
- 全国24のボートレース場のうち、すでに12場がパーク化を実施（令和6年3月末時点）

ボートレース振興会がパーク化に求める3つのポイント

- 地域貢献、スポーツや文化の発信に寄与している**常設の施設を設置**
- ボートレース場の**遊休スペースを有効活用**
- **若年層・ファミリー層の来場きっかけ**

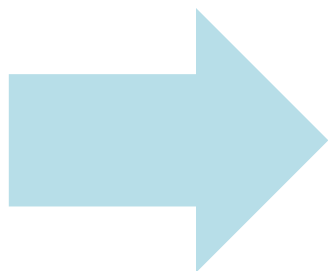


2 ボートレース福岡パーク化の基本方針

- ボートレース場による地域貢献
- 若年層やファミリー層の来場のきっかけづくり
- 多くの市民が集うことによるにぎわいの創出
- 大規模大会が開催可能な高水準のスケートボード施設の整備

3 ボートレース福岡パーク化の方向性

- スケートボード団体より都心部でのスケートボード施設建設の要望を受けている。
- 東京オリンピックを契機にスケートボードの人気の高まっている。
- 市内のスケートボード施設は、雁ノ巣レクリエーションセンター（公共）及び東区と西区に民間施設があるが、市民ニーズに対して都心部における施設は存在しない。



パーク化の中心機能

スケートボード施設、イベント広場 など



ボートレース福岡パーク化事業

4 事業概要

○さまざまな遊具やスポーツ設備等を配置したイベント広場

○カフェやショップ等の店舗を有するにぎわい施設

○初心者から上級者まで誰もが楽しむことができるスケートボード施設

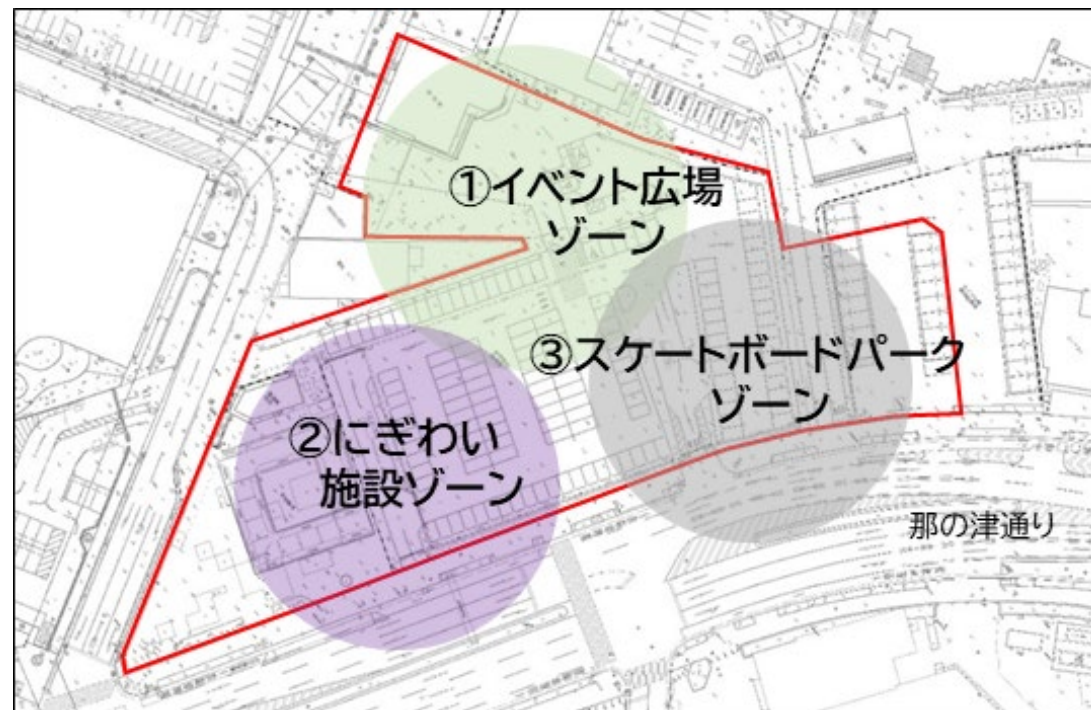
■パーク化の位置



パーク化エリア(合計 約9,100㎡)

- ・前売投票所 : 約 300㎡
- ・前売専用駐車場 : 約4,100㎡
- ・その他 : 約4,700㎡

■施設のゾーニングイメージ





ボートレース福岡パーク化事業

①導入機能等

ゾーン	導入機能	概要等
①イベント 広場ゾーン	イベント広場 (2,000㎡以上)	■営業時間:10:00~22:00 ■利用料:無料 (占有利用する場合は有料) ○天然芝の広場(面積1,000㎡以上) ○遊具を1基以上、スポーツ設備等を1つ以上を設置
②にぎわい 施設ゾーン	にぎわい施設	○事業者資金による整備 (建築面積1,000㎡以下、高さ15m以下)
	飲食・物販等	○飲食施設及びスポーツ関連の店舗など
	【市活用スペース】 施設全体の管理機能に 係るスペース	○10㎡程度 (スケートボードパークの利用者受付などのスペース)
	【市活用スペース】 多目的室	■営業時間:10:00~22:00 ■利用料:無料 ○150㎡程度(可動間仕切りで3室分割できること)
③スケート ボードパーク ゾーン	スケートボードパーク (約3,000㎡程度)	■営業時間:10:00~22:00 ■利用料:有料 ※今後、詳細は規則等で定める ○全天候に対応した屋内施設(約3,000㎡程度) ○全面コンクリートのスケートボードパーク ○常設の観客席・観覧スペース300名分以上
	ビギナーゾーン	○初心者が安全に練習できる平坦なコース ○可動式のセクションの配置(初心者や中級者用)
	ストリート	○オリンピック競技に採用されている種目 ○950㎡程度
	パーク	○オリンピック競技に採用されている種目 ○800㎡程度

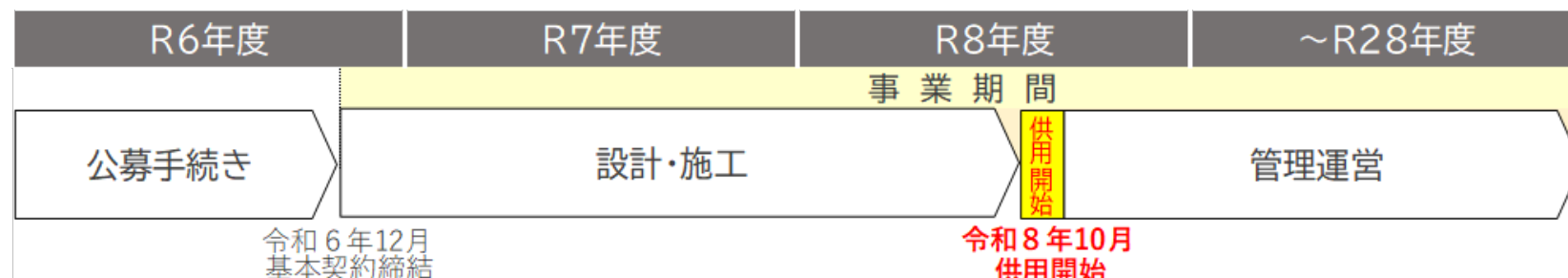


ボートレース福岡パーク化事業

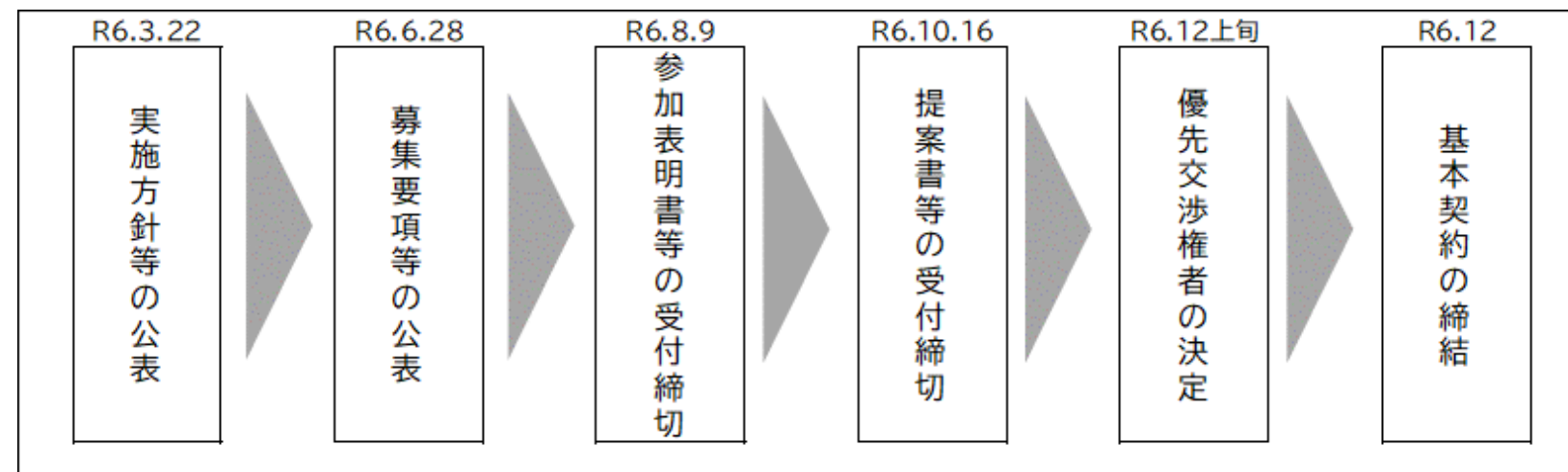
②事業方式

施設	事業手法
イベント広場	設計施工、維持管理及び運営の一括発注
スケートボードパーク	
にぎわい施設	用地を定期借地権設定により貸付けし、 民間事業者資金により建物整備

③事業期間



④公募スケジュール





福岡市博物館リニューアル推進事業





1 リニューアル推進の考え方

(1) 博物館の特長（強み）

- ①魅力ある常設展示
- ②待望される展覧会
- ③充実した教育普及
- ④豊富な収蔵普及
- ⑤特色ある建物・外構の活用

(2) 課題

【施設面】

- ・老朽化した設備の全面更新
- ・施設の劣化や消耗した什器類の更新等
- ・機能の拡充や利便性向上 など

【事業面】

- ・過去—現在—未来をつなぐストーリー性やインバウンドへの訴求力強化
- ・多様な学びの機提供の拡充 など

(3) リニューアル推進の基本方針

設備の更新をはじめとする大規模改修と運営体制の強化により、**歴史文化の発信拠点、文化観光の拠点、学びと交流の拠点、文化を次世代へ継承する拠点**としての機能向上を図り、福岡市が目指す都市像の実現に貢献する。



2 これからの博物館のビジョンとリニューアルの目標

博物館は、対外交流の最前線として挑戦を続け多様な文化を育んできた福岡の歴史から「人と環境と都市活力の調和がとれたアジアのリーダー都市」をめざす現在と未来の姿を発信し、地域文化の担い手である市民、次世代を担う子どもたちや世界からの来訪者と共有・交流する機能を果たす。

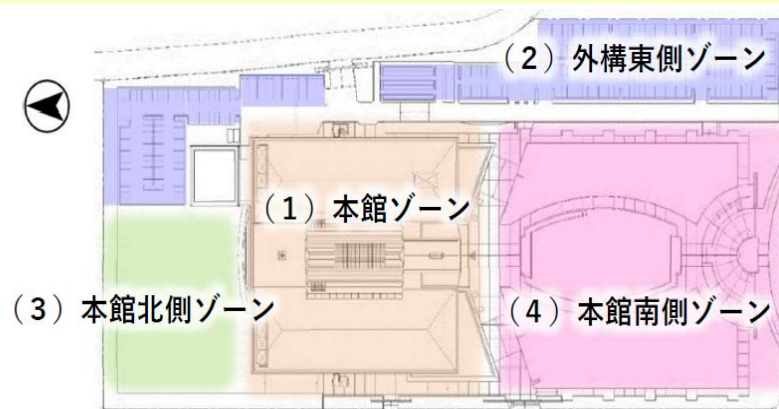
目標1 交流と多様性が創る都市の過去－現在－未来にむかうストーリーを発信する

目標2 すべての人の学び・楽しみを支え、人々の関わり合いを豊かにする

目標3 資産・資源をより有効に活用し、博物館とエリアの魅力を高める

3 施設改修計画（案）

施設のゾーニング





福岡市博物館リニューアル推進事業

(1) 本館ゾーンのリニューアル要点

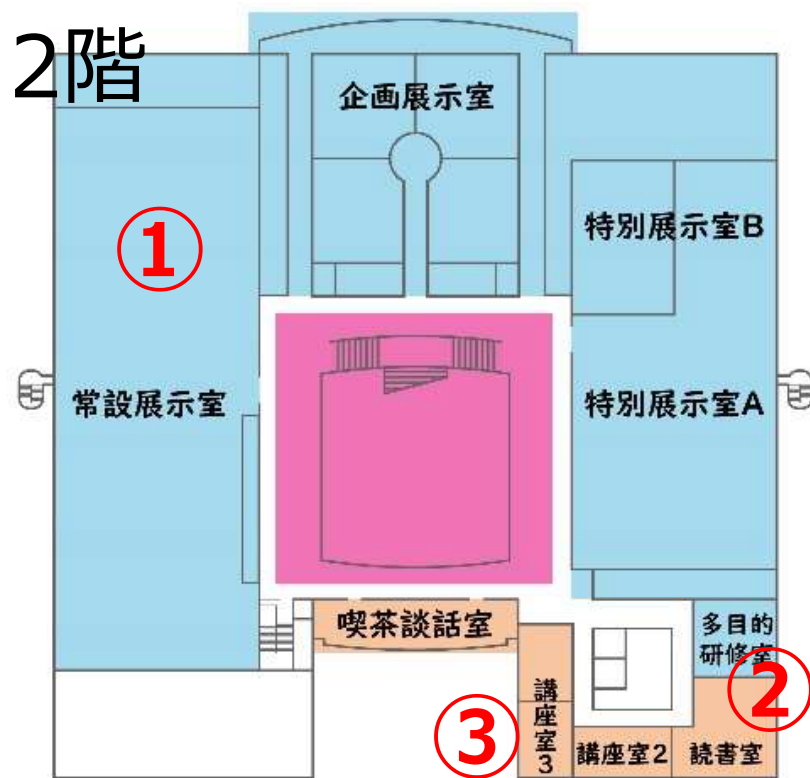
【諸室の改修・機能向上（主なもの）】

- ・ 過去－現在－未来にむかうストーリーが体感できる展示空間（平面図①）
- ・ 子どもの多彩な学びの場となる体験学習室やセミナー室等（平面図②）
- ・ 就学前の子どもが楽しく安心して過ごせるキッズスペース（平面図③）
- ・ 電源等の設備を備えたイベント空間にもなる玄関やロビー（平面図④）

1階



2階





福岡市博物館リニューアル推進事業

(2) 外構東側ゾーンのリニューアル要点

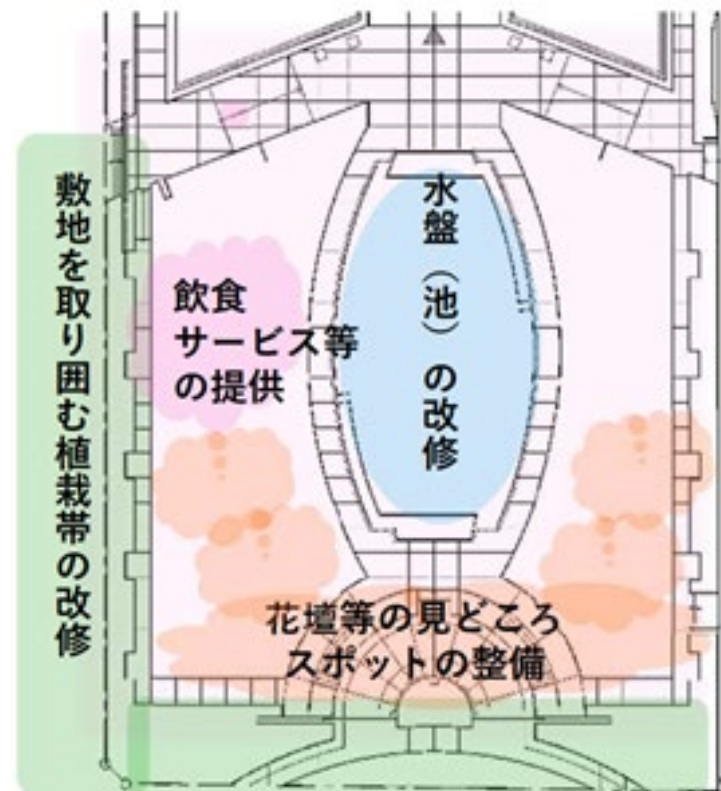
- ・狭い車路や駐車区画の改善等を実施する。
- ・周辺の駐車ニーズも含めた適切な収容台数を確保する。
- ・大型バスの駐車や乗降スペース等を整備する。
- ・EVステーションの設置を検討する。

(3) 本館北側ゾーンのリニューアル要点

- ・収蔵庫棟を増築し、博物館資料の保管スペースの不足を解消する。
- ・収蔵庫棟は、高い防災機能を備えるものとし、市民の財産である収蔵資料や地域の文化財を次世代に確実に継承する。

(4) 本館南側ゾーンのリニューアル要点

- ・地域に開かれた花と緑のオアシス空間となる広場へ改修する。
- ・水盤（池）を改修して広場を拡張し、「一人一花」花壇等の見どころを設ける。
- ・植栽を改修して敷地の開放感を高め、「サザエさん通り」や公園・図書館との一体感を出す。
- ・誰でも利用しやすい飲食サービス等を提供する。





4 管理運営計画（案）の概要

- ・市は、文化の次世代への継承等、博物館の基本機能の確実な維持・向上を図る。
- ・民間活力の導入により、利用者サービスの向上、施設の有効活用の拡充等を図る。
- ・他都市の博物館運営を参考にし、今後、指定管理者制度の導入等も検討する。

市が担っていくもの	民間のノウハウ活用が期待できるもの
・博物館資料の収集・保管・調査研究 ・収蔵資料や文化財等の適切な展示公開 ・福岡の歴史文化に関する普及活動 ・福岡の歴史文化に関する市民の活動への支援 や大学等の多様な主体との連携・共創 等	・維持管理業務の効率化 ・行き届いた接遇等の利用者サービス ・多彩な展覧会や催事の企画・運営 ・集客向上に資するパブリシティ ・的確なニーズ把握による飲食・物販等サービスの提供 等

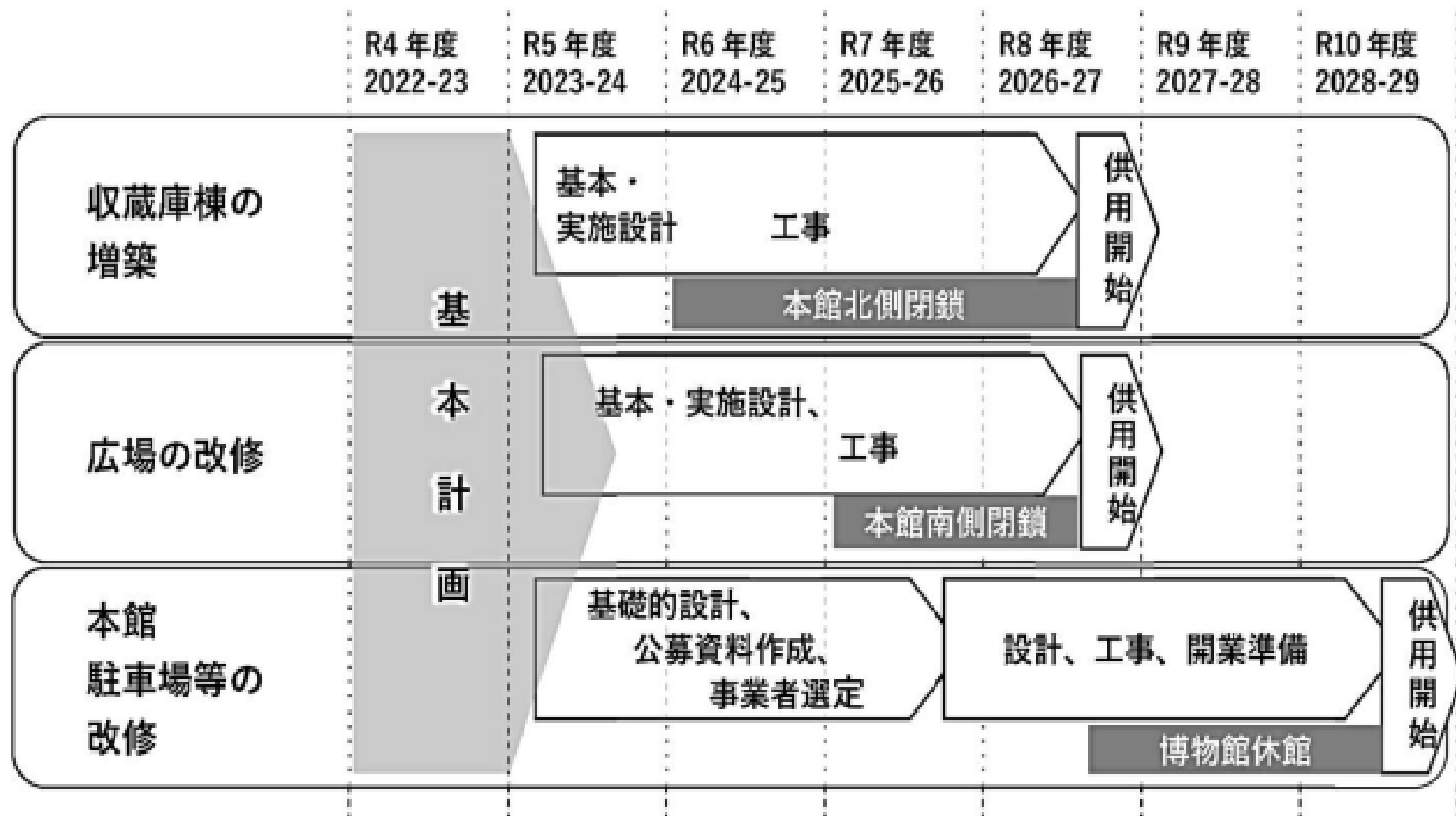


5 事業手法について

施設	事業手法	
	改修の設計・施工	維持管理・運営
本館 駐車場等の外構 等	PFI-RO方式 ・ 本館や駐車場等の改修にかかる突出した支出を回避できる。 ・ 大幅な効率化、施設設備の性能保証が期待できる。 ・ 施設の効果的・効率的な活用が図られやすく、多様なニーズへの対応や開拓、新たな魅力の創出につながりやすい。	
収蔵庫棟（増築）		
広場		



6 事業スケジュール



西部工場再整備



西部工場外観(左:西部工場、右:西部資源化センター)



(仮称) 新西部工場基本計画 (案) 概要

第1章から第3章まで

(1) 基本計画について

- ・西部工場は稼動開始後約30年経過しており、老朽化が進行している。安定的かつ効率的なごみ処理体制を確保するため、令和3年4月に西部工場再整備の検討に着手した。
- ・令和4年3月に策定した西部工場再整備基本構想では、再整備の基本的な考え方をまとめた。「(仮称)新西部工場基本計画」は、基本構想を基に、(仮称)新西部工場（以下「新工場」という。）の主な設備や附帯機能など基本的な要件に関する方針を定めるために策定

(2) 施設規模・炉構成

新工場で処理が必要な可燃ごみ量に、今後更なるプラスチックごみの減量施策に取り組んでいくことを見込むとともに、定期修理などの停止を考慮した計画稼動率及び災害廃棄物等に対応する焼却余力を考慮し、施設規模は「690トン/日」とする。

また、安定的な処理の継続のため、焼却炉は3炉構成とする。

(3) 環境保全

厳しい水準の排ガス基準値を設定し、周辺環境への影響を低減する。

その他の基準（排水、騒音等）についても、関係法令等を遵守した上で、周辺環境に一層配慮する。

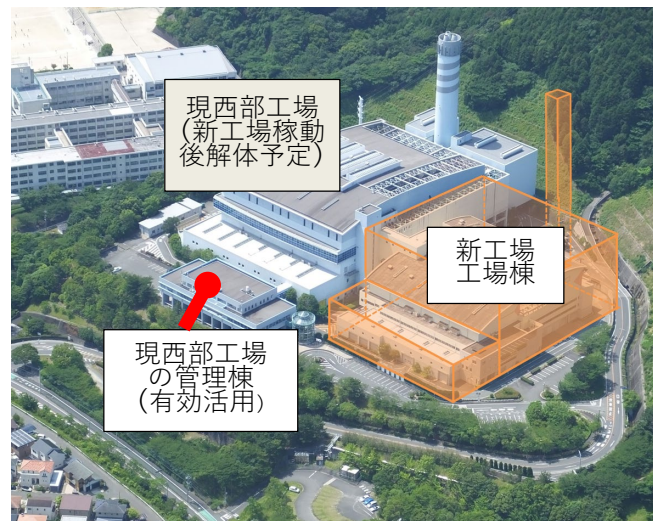
項目	排ガス基準値 ()は法規制値	(参考)福岡 都市圏南部工場
ばいじん (mg/m ³ N)	10 (40)	10
塩化水素 (ppm)	20 (約430)	30
硫黄酸化物 (ppm)	30 (約900)	30
窒素酸化物 (ppm)	80 (約250)	100
ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	0.1 (0.1)	0.1
水銀 (μg/m ³ N)	25 (30)	25

第4章 プラント・建築計画

(1) 工場棟・管理棟

工場棟はコンパクトなものにすることに努め、背景となる山並みの眺望の確保を図る。

管理棟は現西部工場の管理棟を改修・補修し、再利用することで、施設の有効活用を図る。



施設配置のイメージ図

(2) 受入・供給設備

ごみピットは一時的に搬入量が増加した場合でも貯留できる容量を確保する。また、粗大ごみを受け入れる専用ピットも設け、利便性の向上を図る。

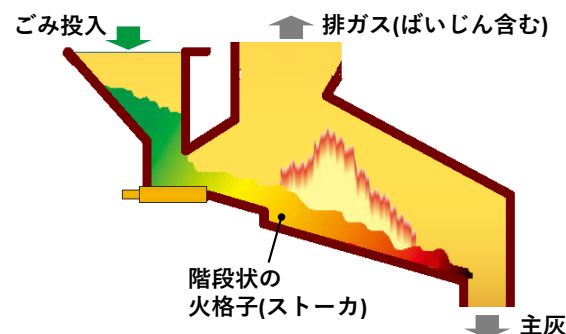
ごみクレーンはA I (人工知能)技術などを採用し、効率的な自動運転が可能なものとする。

第4章 プラント・建築計画

(3) 焼却設備

焼却の処理方式は安定的なごみ処理の実現やエネルギー消費量などを総合的に考慮し、「ストーカ式焼却方式」とする。

炉の床に板を階段状に並べ、それを列ごとに小刻みに動かして、ごみを徐々に攪拌しながら移動させごみを燃焼させる方式

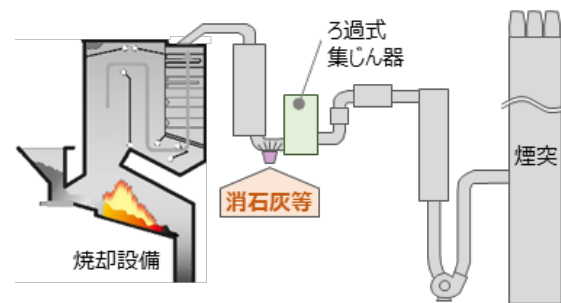


ストーカー式焼却方式の概要

(4) 排ガス処理設備

排ガス処理方式は設備の大きさやエネルギー回収効率への影響などを総合的に考慮し、「乾式」の排ガス処理とする。

消石灰等をろ過式集じん器の前に吹込むことにより塩化水素及び硫酸化合物を除去する方式



乾式の排ガス処理方式の概要

第5章 エネルギー利活用機能

(1) エネルギー回収の高効率化

ボイラ蒸気の高温・高圧化などによりエネルギー回収の高効率化を実現する(効率 24%以上)。
(参考 現西部工場：10.9%、福岡都市圏南部工場：22.7%)

(2) 自然エネルギーによる発電設備の導入

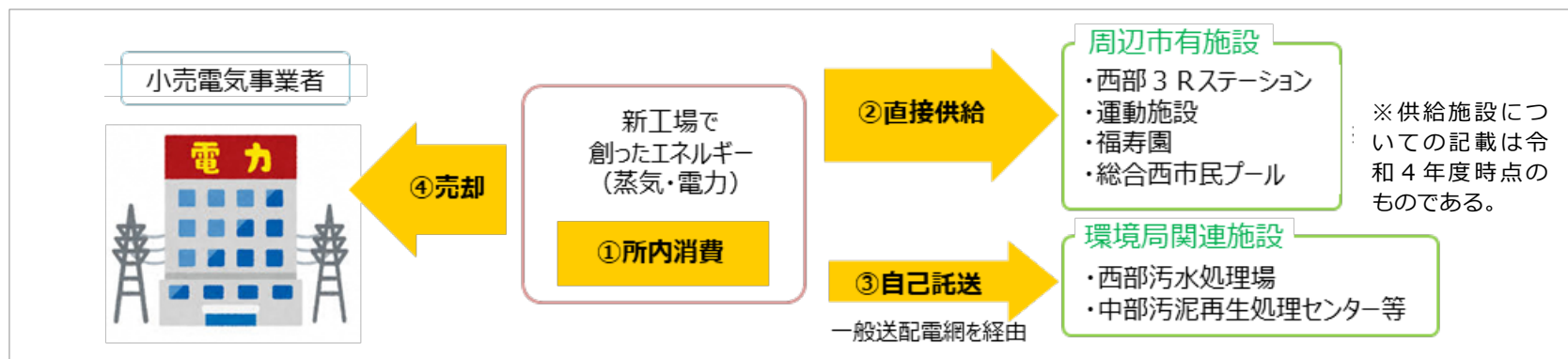
設置条件などを考慮した上で、太陽光発電などの自然エネルギーによる発電設備を導入する。

(3) 施設の省エネルギー化

プラント設備、建築設備、建築物において、高効率なモータや空調換気設備など省エネルギー技術を採用する。

(4) エネルギーの活用と供給

活用・供給は、現西部工場の現状を踏まえたものとし、脱炭素社会の実現に寄与する。





(仮称) 新西部工場基本計画（案）概要

第6章 防災機能

(1) 施設の強靱化

耐震安全性の確保

災害時でもごみ処理を継続するため、耐震安全性は一般的な施設よりも高い水準とする。

土砂災害対策

法面や建物の土砂災害対策を適切に行うことに加え、複数のアクセス確保のために追加の場内道路の整備を検討する。

停電対策

停電時に焼却炉を起動可能な非常用発電設備を設ける。

ごみ処理に必要な薬品の供給断絶・断水対策

薬品の供給断絶や断水時においても、薬品・水を確保できる貯留設備とする。

(2) 災害廃棄物への効率的な対応

粗大ごみ受入・処理設備

粗大ごみ用のピットと破碎設備を設け、災害時には災害廃棄物を迅速に処理する。

大型車への対応

災害廃棄物を積んだ大型車による災害廃棄物の搬入に対応できるものとする。

第6章 防災機能

(3) 防災活動のサポート拠点

周辺の停電時に、新工場の廃棄物発電による電力で災害時電源として活用できるよう、電気自動車を充電する設備を設ける。



第7章 環境学習機能

施設内に見学通路を設けることで、ごみ処理設備の実物をガラス越しに見学できることなどにより、動きや役割を学習可能とする。

なお、「ごみ減量や分別の大切さを学べるもの」や「地球温暖化対策についても学べるもの」とする。



巨大なごみクレーンでの投入の様子



24時間体制の運転・監視の様子



(仮称) 新西部工場基本計画 (案) 概要

第8章 施設整備スケジュール

令和6年度までに工事の発注準備や環境影響評価を行い、新工場については、令和7年度以降に建設工事を進め、令和13年度頃に稼動できるよう進めていく。

	R5 年度 (2023)	R6 年度 (2024)	R7 年度 (2025)	～	R13 年度頃 (2031)	～
新工場	発注準備・ 環境影響評価 建設工事 ※資源化センター解体工事も含む 稼動					
現西部工場	稼動 解体 工事					

※現時点でのスケジュールであり、今後変更になる可能性あり



福岡市葬祭場「刻の森」整備事業





1 施設概要

- ・所在地 福岡市南区桧原6-1-1
- ・供用開始 平成17年10月 1 日
- ・敷地面積 92,685.43m²
- ・建築面積 5,731.88m²
- ・火葬炉 26炉
- ・場内施設 告別室・収骨室 各 6 室
待合室20室
- ・施設運営 (公財) ふくおか環境財団 (指定管理者)

2 整備内容及び火葬受付時間変更

- ・整備期間 令和 8 年度～12年度 (5 年間)
- ・整備炉数 全26炉 (5 年間かけて順次更新予定)
【他工事】排ガス処理設備、告別室・収骨室改造 受変電設備
空調設備等
- ・受付時間 午前10時～午後 4 時 ⇒ 午前10時～午後 6 時



3 施設整備における留意点

○施設を稼働させながらの更新

- ・施設運営に支障がないように設備を更新（6～8炉／年）
- ・工事期間中の火葬炉数の減に対し、運転回数の増（2回転／日→3回転／日）で対応
- ・運転回数の増に伴い、火葬受付時間を延長

○今後の火葬件数増加への対応

- ・整備期間終了後も、運転回数の増及び火葬受付時間延長により対応

○周辺住民への配慮

- ・主に建物内での工事であるが、工事期間中は防音対策等を十分に実施

4 スケジュール（予定）

- | | |
|-----------|--------------------|
| ・令和6年度～ | 実施方針・要求水準書等作成、議会報告 |
| ・令和8～12年度 | 火葬炉設備等更新 |



九州大学箱崎キャンパス跡地 水素ステーション整備



福岡市水素ステーション（中部水処理センター内）



水素リーダー都市プロジェクト

福岡市では、水素社会の実現に向けて、水素エネルギー関連産業の振興を目的とした「福岡市 水素リーダー都市プロジェクト」を推進しており、水素の需要と供給の両方を拡大するため、さまざまな取組みを進めている。

(1) 下水バイオガス由来の水素ステーションの運営

市の下水処理施設である中部水処理センター内に、市民の生活排水の処理過程で発生するバイオガスから**水素**を製造し**FCV（燃料電池自動車）**等へ供給する「世界初」の**水素ステーション**を平成27年に開設し、官民連携で運営している。



(2) FC（燃料電池）モビリティの導入促進

水素の需要創出に向け、行政が率先して水素車両の導入を進めており、さまざまなFC（燃料電池）モビリティの導入促進に取り組んでいる。



Moving e：水素で走り、
発電もできる燃料電池バス。



ごみ収集車



給食配送車



救急車



九州大学箱崎キャンパス跡地 水素ステーション整備

(3) 九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりへの水素実装

水素社会の実現に向けたモデルとして、九州大学箱崎キャンパス跡地において、水素の実装に向けた取組みを進めている。

①水素ステーションの整備

乗用車やバス、トラック等のFCモビリティの充填に加え、パイプラインを介して水素を供給予定。

②水素供給パイプラインの整備

水素供給に向けて、パイプラインを整備中。

③施設での利活用

公共施設や民間施設において、水素から電気や熱を生み出す純水素燃料電池を導入予定。





おわりに）民間提案等制度について

○制度概要

区分	民間発案 (PFI法に基づかない任意の発案)	民間提案 (PFI法第6条に基づく提案)
受付 対象事業	PPPロングリスト掲載の事業の他 福岡市政策推進プラン掲載の事業	PPPショートリスト掲載の事業
受付 提案内容	PPP事業化に向けたアイデアの提案 ※ 実施手法, 事業計画, 民間ノウハウ等	PFI事業の実施方針案の提案 ※ ただし, 実施方針が公表された事業は除く
募集開始	PPPロングリスト公表時より受付開始 受付期限はなし。随時受付 ※ PPPロングリストは毎年4月に公表	PPPショートリスト公表時より受付開始 受付期限は6月末まで ※ PPPショートリストは毎年4月に公表
提案受付 最終期限	PPPショートリスト掲載前まで	PFI事業の基本計画策定時公表まで

**発案・提案を検討している事業がありましたら、
まずはご相談ください。**



おわりに) 民間提案等制度について

◎皆様からの**民間発案・提案**について受け付けています。

詳しくは下記URLからご確認ください



【市ホームページ】「民間提案等制度」

URL : http://www.city.fukuoka.lg.jp/zaisei/jigyo-suishin/ppp_pfi/index.html

※ ページ中段「民間提案等制度」からご確認ください。

【お問い合わせ先】

福岡市財政局アセットマネジメント推進部大規模施設調整課
〒810-8620 福岡市中央区天神一丁目8-1(本庁舎3階)
TEL:092-711-4804
FAX:092-733-5868
E-mail: daikibo.FB@city.fukuoka.lg.jp



福岡市PPPロングリスト・ショートリスト 事業紹介

END